

日本肝臓病患者団体協議会（日肝協）の
取り組みについて

日本肝臓病患者団体協議会（日肝協）が最重要課題として取り組んでいるのが『肝がん・重度肝硬変患者医療費助成制度』の基準緩和です。C型肝炎はウイルスを排除する薬が開発され多くの命が救われています。B型肝炎も優れた核酸アナログ製剤により病状の進行を抑えることが出来るようになりました。しかし、重度肝硬変や肝がんまで症状が進行した患者たちは、厳しい闘病生活を強いられています。こうした患者が「安心して治療を受けられるように」と平成30年（2018年）12月から始まったのが『肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業』による治療費助成制度です。しかし、制度が機能しておりません。

実際に医療費助成の対象となった患者は令和3年度（2021年度）で見ると厚労省見込み数「毎月約7,600件」に対し実績数は約280件（見込み数の3.5%）でした。福岡県も同様の傾向が続いています。その後、基準緩和により若干の改善が見られますが、機能不全状況に変わりはありません。国会の超党派議員の先生方も早急な改善策を求めています。

ウイルス性肝がん患者・重度肝硬変患者の支援（治療研究促進事業）について

1. 経過

制度：過去1年間に入院4月目（高額療養費）から自己負担額月1万円（世帯年収370万円以下）

平成30年12月制定 予算額14億円

見込数：月7228件 令和2年 実績数：月81件（1%）

改訂：過去1年間に入院・通院3月目（高額療養費）から自己負担額月1万円（世帯年収370万円以下）

令和3年4月改訂 予算額14億円

見込数：月7600件 令和3年 実績数：月281件（3.5%）

現状 見込数：月7600件 令和4年・5年 実績数：月450件前後を推定（6%）

（30余の都道府県から実績収集）

2. 今後の制度

○制度見直しの考え方

1. 運用しやすい簡便な制度にする。2. 多くの肝がん・重度肝硬変患者が助成を受けられる制度にする。

○方法

1. 治療の開始時期

肝がんの特性である長期的に発がんを繰り返す患者を救済するため、発がん当初（1回目）からかまたは再発（2回目）からとする。（過去1年間は外す）

肝がんの特性：肝硬変の初期・中期で発がんの患者は、年1回程度の発癌を長期に繰り返す。
肝硬変の末期で発がんの患者は、余命が短い。現在の制度は後者を対象としている。

2. 対象者の収入と自己負担額

肝炎ウイルスを叩く治療薬である抗ウイルス剤治療への助成の様に、所得金額で自己負担額を変えて、上記1の肝がん患者全員を対象とする。（上記の1と2を実施しても、予算額に十分に入ると考える。）

厳しい状況で苦しんでいる全てのウイルス性肝がん・肝硬変患者を救済して下さい。
参考・抗ウイルス剤の支援：世帯全員の市町村民税（所得割）235000円以上は月自己負担額上限20000円、以下は月上限10000円とする。
・身体障害者手帳（肝硬変）：世帯全員の市町村民税（所得割）235000円以下が対象
・重症化予防事業（定期検診）： 同上

○進め方 厚労省と患者団体と議連の先生との合同検討会を開催させていただきたい。

日本肝臓病患者団体協議会 主催

肝炎患者やご家族のみなさん、医療、行政関係者のみなさん、ふるってご参加ください

第11回

WHO(世界保健機関)の呼びかけにより、厚生労働省は毎年7月28日を「日本肝炎デー」に設定、肝炎の蔓延防止、差別偏見の解消、感染予防など啓発活動を実施するよう呼びかけています。日肝協は患者団体として独自の「肝炎フォーラム」を開催、世界の肝炎の現状や問題点をみなさんと一緒に考えます。

日時 2023年7月23日(日) 13:30~16:00

会場 お茶の水ソラシティ 2F ホール EAST

千代田区神田駿河台 4-6 JR 御茶ノ水駅 聖橋口徒歩 1分

参加 無料

申込み 日本肝臓病患者団体協議会まで
電話、FAXでお願いします(裏面をご利用ください)

<プログラム>
開会式 主催者挨拶、来賓挨拶、メッセージ

◆パネルディスカッション◆

「2030 肝炎エリミネーションを目指す日本とブルキナファソの課題～肝炎医療コーディネーターの取り組みと両国の協働を考える～」

進行 江口ゆういちろう先生(ロコモディカル総合研究所)
米澤敦子(日本肝臓病患者団体協議会)

パネラー ドラマン・カニアさん(アソウト・エパティット)
クレール・オルタンス・サノンさん(SOS 肝炎ブルキナ)
島川祐輔先生(パスツール研究所)
矢田ともみさん(ロコモディカル総合研究所)
阿曾有利子さん(東京肝臓友の会)

主催 日本肝臓病患者団体協議会

161-0033 新宿区下落合 4-27-5-201

TEL 03-5982-2150

祝日を除く月・木・金
10:00~16:00

FAX 03-5982-2151

定員 198名
要 申込

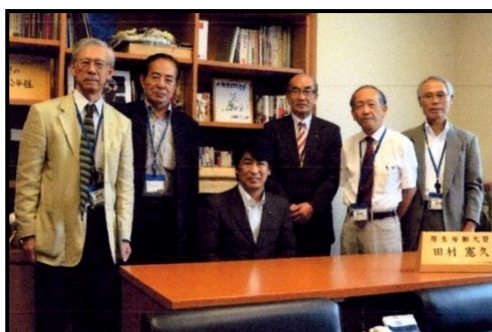
世界・日本肝炎デーフォーラム開催

世界の肝炎患者と手を携え、すべての肝炎患者に社会的支援を！

第11回世界・日本肝炎デーフォーラム
東京で開催(7月28日)



写真は2014年7月27日、東京で開催された第3回世界・日本肝炎デーフォーラム



田村憲久・厚労大臣(当時)を大臣室に訪ねて陳情。(大賀顧問は右端)



厚労省記者クラブで記者会見(中央が大賀顧問)

